

記入例

(別紙)

別紙推薦・申込説明書（個人・団体・事業者）

氏名又は団体名	△△会	
代表者 (団体の場合)	△△ △△	
住所又は所在地	郡山市△△町△丁目△-△	
連絡先	担当者名	〇〇 〇〇
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	e-mail	〇〇〇〇@〇〇.com
団体等の概要	(設立年月、構成員数、事業内容等) 設立年月：平成〇年〇月〇日 構成員数：〇〇人(〇年〇月〇日現在) 事業内容：〇〇〇〇〇〇〇〇	

活動内容	
主な取り組み (右から選択)	- 一般廃棄物の発生抑制又は再使用に資する取り組み - 一般廃棄物の資源化又は適正分別に資する取り組み - ごみ減量の啓発又は協働の推進に資する取り組み
背景・目的	家庭ごみの中でも生ごみの量が多く、減量に取り組む必要があった。また、集積所でカラスによる被害が発生する要因にもなっていたため、被害防止を含めた対策が求められていた。
具体的 活動内容	代表者△△ △△は、生ごみ減量を目的としてキエー口を自作して自宅で使用した。その結果、自宅から排出される生ごみ(約150g/日)はゼロとなった。 さらに、地域の健康サークルにおいて作成方法及び使用方法の説明を行ったところ、参加者20名のうち15名がキエー口の使用を開始した。これを受けて「△△会」を立ち上げ、使い方の研究等を会員と共同で行っている。 現在は、他地域の住民との意見交換や導入に向けた助言・指導も実施するなど、キエー口の普及啓発に努めている。
特徴	キエー口の作成方法及び使用方法を資料として取りまとめ、希望者へ配布している。さらに、希望に応じて作成指導も行い、地域における生ごみ減量の推進に取り組んでいる。
ごみ減量の実績	(分かる範囲) 1,368 k g △△会の生ごみ減量 150 g/日 × 365日 × 会員25名 ※指導などの普及啓発による効果は算出できない。

表彰歴	・あり 年 月（表彰名： ） ・なし
今後の課題と展望	生ごみは悪臭の発生やカラスによる被害の要因となるほか、家庭ごみに占める割合も大きく、さらなる減量が求められている。こうした課題の解決策の一つとして、キエーロの活用は有効である。今後は、市民運動として「一家に一台」のキエーロ普及を目標に、作成・使用方法の指導及び啓発活動を継続・拡大していく。